（専門試験　少年補導職員　No.1）

「児童養護施設入所児童等調査の概要（平成30年２月１日現在)」にみる社会的養護の状況に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1．里親委託となった児童の委託経路をみると，「児童養護施設から」が最も多く，次いで「家庭から」,「乳児院から」の順となっている。

2．児童自立支援施設における入所児童の就学状況をみると，「小学校高学年」が最も多く，次いで「小学校低学年」,「中学校」の順となっている。

3．乳児院の入所児童のうち，被虐待経験のある児童が受けた虐待の種類をみると，「身体的虐待」が最も多く，次いで「心理的虐待」,「ネグレクト」の順となっている。

4．児童養護施設の入所時の児童の保護者の状況をみると，「両親ともいない」が最も多い。

5．母子生活支援施設への入所理由をみると，「配偶者からの暴力」が最も多い。

正答番号　　５

（専門試験　少年補導職員　No.2）

文章理解モデルに関する次の文中のア～ウに入る語句がいずれも妥当なのはどれか。

キンチュ（Kintsch, W.）らは，文章理解の結果，読み手の心内に構築される意味の表象を，読んだ文章自体についての命題的な表象である［ア］と，読み手の知識構造に読解した情報が統合された［イ］とに区別した。なお，［イ］は必ずしも言語的表現をとるわけではないが，読み手はこれを心的に操作することで，テキストに明示されていない事柄の推論や他の場面への応用が可能となる。このような学習を［ウ］と呼んでいる。

	ア	イ	ウ
1．	テキストベース	状況モデル	テキストの学習
2．	テキストベース	状況モデル	テキストからの学習
3．	テキストベース	意味ネットワーク	テキストの学習
4．	状況モデル	意味ネットワーク	テキストからの学習
5．	状況モデル	テキストベース	テキストからの学習

正答番号　　２

（専門試験　少年補導職員　No.3）

リッツァの「マクドナルド化」論に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つあるが，それらはどれか。

ア．マクドナルド化とは，マクドナルドに代表されるファスト・フード店が世界中で店舗数を増やしている現象のことであり，専ら外食産業で起きている事態を表す概念である。

イ．マクドナルド化が進むことで，同質的な人々が結び付く機械的連帯から，異質な他者が相互依存的に結び付く有機的連帯へと，人々の連帯のあり方が変化する。

ウ．マクドナルド化が進む過程では，効率性を高めるために，合理化が徹底されていくが，そのことはときに非合理な帰結をもたらす。

エ．マクドナルド化が進むと，マニュアルに沿って働くのではなく，個々の従業員の自由な発想に基づく創造的な働き方が奨励される。

オ．マクドナルド化の否定的な影響の一つは，それが顧客や従業員の脱人間化をもたらすことである。

1．ア，イ
2．ア，オ
3．イ，エ
4．ウ，エ
5．ウ，オ

正答番号　　５